

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	34	コロナ禍を理由に消防士の方から訓練の様子を見てアドバイスを頂く機会もなくなってしまった。施設内で訓練を行ったが、反省点を記録しておくのを忘れてしまっていた。危機感が足りないと反省した。	緊張感をもって訓練に取り込めるよう、消防士の方に訓練の様子を見てアドバイスを頂く。	コロナウイルスが感染症5類に引き下げられたら法人へ相談して消防士立ち合いの訓練を再開する。	12ヶ月
2	4	コロナ禍の中、外部の方の入室が禁止され、交流が持てなかった。意見交換をする機会が失われてしまった。	地域の方へグループホームの様子を報告する機会を作る。	時間を短縮し、人数も減らしながら少しずつ再開していく。	12ヶ月
3	13	グループホームらしく地域へ出かけ、自由に生活できることを目標に支援してきたが、コロナ禍となり外出禁止、面会禁止、おしゃべり禁止、と窮屈な生活、最低限の関わりしかできなかったため、職員のモチベーションが下がっている。	地域へ買い物へ出かけたり、家族が遊びに来たり、自由で開放的なグループホームを目指す。	引き続き感染対策は行いながらも、換気し、距離を取りながら地域へ少しずつ出かけていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。